

Johnan Journal

仙台城南高等学校 大学と接続した新しい学びの創造

仙台城南に 春 到来！

令和4年度 入学式 ～新学科構成 306 名の新入生を迎えて～

4月8日(金)桜満開の穏やかな青空の中、新しい学科構成となった一期生 普通科特別進学スーパーコース 9名・特別進学アクティブコース 30名・総合進学コース 154名、科学技術科 113名の新入生を迎え、『令和4年度仙台城南高等学校入学式』を挙行いたしました。

新しい制服に身を包んだ新入生 306名は緊張の中にも笑顔で浮かべながら、仙台城南高校の一員としての高校生活をスタートさせました。



学校長式辞 (要旨)

桜前線もみちのく路まで北上し、ここ八木山の桜もようやく開花を迎え、うららかな陽ざしに、春の訪れを感じる今日この頃であります。

本日は、仙台城南高等学校の令和4年度の入学式を迎えることができました。そしてたぐいまるく入学を許可いたしました、306名の皆さん、入学おめでとうございます。教職員・在校生を代表して心から歓迎申し上げます。

さて、ここで、仙台城南で学ぶにあたって敢えて二つの注目を行います。

まず一つ目、「幅広く学べ」ということです。城南の学びには各教科科目の学習の他に様々な教科横断的なプログラムが用意されています。探究活動、フィールドワーク、生徒会活動、部活動、ボランティア活動など教科の学習にとどまらず、幅広い学びに取り組んでいただきたいのです。21世紀はグローバル化の時代と言われ20年が経ちました。地域紛争、地球規模での環境や生態系の破壊の危機、テロ、金融危機など、予測のつかない困難で複雑な課題が人類を襲うといわれてきました。今まさにウクライナへの軍事侵攻や新型コロナウイルスへの対応に苦慮している今の状況を踏まえると、私たちは迫っている困難な課題に向き合い、その解決に向けて取り組まなければならないことを実感できるのではないのでしょうか。このような困難で複雑な課題の解決に向けては、多様性や自他との違いを認め尊重しつつ、相互信頼と連帯・共同の輪を広げていくことのできる考え方や社会の在り方が必要です。そしてこのような課題に向き合うためには、知性では収まりきらない人間性と深い関わりがある情念や感性をはぐくみ、多様な表現力を身に付けたり、他人と共感できる心を身に付け、自分の生き方を振り返る潔さ、善悪の判断を峻別できる判断力など幅広い、いわゆる教養が必要です。この教養を身に付けるためには「幅広い学び」がぜひ必要です。城南での「幅広い学び」は、皆さんが将来取り組むことになる、予想のつかない課題、答えがひとつではない複雑な課題の解決のために必要な力やヒントを与えてくれるはずで、城南でぜひ幅広い学びを心がけてください。

二つ目、「紳士・淑女たれ Be a gentleman be a lady」ということです。紳士・淑女は、自分の行動や振る舞いに対して見通しをもって、結果を予想し、その結果に責任を持つことが求められます。やるべきことは自分で見つけて、自発的に自分で取り組む。そこには自分をコントロールする強い意志も必要になります。結果に責任を持つということは、善悪の価値判断や道徳的な心も兼ね備えなければなりません。2年後には成人となります。プレ成人の自覚をもっていただきたいと思えます。また、紳士・淑女は、他を思いやる気持ちを忘れてはいけません。人の不幸を見て自分のこととして同情し、心を痛めると同時に何かをしてあげたいという、弱者に対するいたわりの心と云うことができます。人としての最高の徳とも言えます。誠実な心を持って、社会に貢献できる人間になることは持続可能な社会の実現に繋がります。

紳士・淑女は、立ち振る舞いについても、周囲の人々に不快感を与えてはいけません。言葉遣いや行動・服装についても周囲の人々に気を配り、好印象を持ってもらうことも重要だと思えます。「紳士・淑女たれ Be a gentleman be a lady」是非、世界で通用する gentleman, lady を目指してください。

最後に、入学生さんの学校生活は、人生において、最も思い出の深い大切な時期となります。今日の初心を忘れず、それぞれの夢や希望に向かって努力を惜しまず、悔いのない毎日を送って下さい。必ず未来の自分が見えてくるはずで、皆さんが充実した城南での高校生活を送ることを祈念して式辞といたします。

仙台城南高等学校 校長 伊藤 俊



新入生代表宣誓

普通科特別進学スーパーコース 小田 悠太 さん(亘理中出身)が、新入生を代表して、「本日、入学を許可されました私達一同は、仙台城南高等学校の教育方針に従い、校訓・校則をよく守り、仙台城南高校の生徒としてその本分を尽くすことを誓います。」と厳粛な雰囲気の中、堂々と宣誓をしました。

新入生の抱負

《普通科 特別進学スーパーコース》

大友 結衣 さん（岩沼西中出身）

「地道な努力」この言葉を私は高校生活の抱負として掲げていきたいと思ひます。学校生活に慣れること、体調を崩さないで過ごすこと、勉強で分からないをつくらないようにすること、これら全ては日々の努力の上でこそ成り立つものだと考えます。そのため、早寝早起きなどの基本的なことから様々な授業の復習などの少し煩わしく感じるものにも向き合う努力を欠かさないようにし、自分の可能性を広げられる3年間にしていきたいと思ひます。



《普通科 特別進学アクティブコース》

佐々木 悠 さん（南中山中出身）

私は勉強と部活のどちらも頑張りたくて自分に最も適しているところを考えこのコースに入学しました。家から城南高校までの通学に1時間30分以上かかり、それに部活もあって勉強する時間があまりとれないと思ひますが、休み時間やバスでの移動時間など隙間時間を有効活用し、学校の授業で自分のものにするくらい集中して勉強していきたいです。勉強と部活動、どちらも疎かにすることのないように、文武両道を目指して頑張りたいです。



《普通科 総合進学コース》

和賀 美羽 さん（中田中出身）

私は将来、看護関係の大学に進学したいと思ひ、3年次で「健康・福祉系」を選択できるこの総合進学コースに入学することを決めました。中学では思うように良い成績を残すことができなかったため、高校では自主的に学習に取り組む時間を増やし、勉強を中心とする生活を送りたいと考えています。



そして、3年後には自分を理想とする進路目標を達成し、この仙台南高校で良かったと思えるような高校生活を送りたいと思ひます。

《科学技術科》

阿部 道 さん（南小泉中出身）

私の高校生活の抱負は“文武両道”です。私はバスケットボール部に所属しており、日々の練習に励んでいます。私は将来、IT関係の仕事に就きたいと思ひているので、2年生になったら少しでも多くの資格取得を目指し、3年後は東北工業大学へ進学したいと考えています。そのため、部活をやっているから勉強が疎かになるのではなく、部活動がんばりながらも勉強に力を入れ、将来のために高校ではより多くのことを学んでいきたいです。



「対面式・部活動紹介」

新入生を迎えて、生徒会主催の対面式を行いました。マスコットキャラクター“Jにゃん”も登場し、新入生を温かく迎えました。部活動紹介では、各部が趣向を凝らしたステージ発表や活動ビデオを紹介し、新入生は熱のこもった先輩たちの発表に興味津々でした。

放課後には中庭で、部活動説明会が行われ、「どの部にしようか」と迷っている新入生に、先輩たちは積極的に入部の勧誘を行っていました。



5月の予定



2日(月) 振替休業日
6日(金) 到達度テスト[RT]
7日(土) I期試験[S1, 2]
10日(火) 歯科検診
13日(金) 午前授業

14日(土) 進学講演会[2A]
15日(日) 全統記述[3S]
17日(火) 眼科検診
20日(金) 生徒総会
高総体壮行式

